


北茨城市(きたいばらきし)

	〒 319-1592 〈住所〉北茨城市磯原町磯原1630番地 〈TEL〉0293-43-1111 〈FAX〉0293-42-7308 〈HP〉http://www.city-kitaibaraki.jp 〈e-mail〉kikaku@city.kitaibaraki.lg.jp	地域指定 辺地(一部区域) 特定農山村(一部区域)	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 工業用水道 農業共済	公営企業 法適用(上水 工水 病院) 法非適用(公共下水道 漁業集落排水)
	類型 I-O 地方公共団体コード 082155 面積 186.55 km ²			

<行政組織>

①長等(平成26年5月1日現在)

長	とよだ みのる 豊田 稔 (69歳)	任期	平成27年6月17日
		就任回数	4期目
副市長	石田 奈緒子		

②議会(平成26年5月1日現在)

議長	鈴木 和栄	副議長	鈴木 啓一
任期	平成29年3月30日	条約定数	20人
		現議員数	20人
党派別	公明2人, 民主2人, 共産1人, 無所属15人		

③職員数(平成25年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係		公営事業会計関係
	530	342	216	
一般行政職の平均給料月額	3,263 百円	ラスパイレス指数	104.7	参考値※ 96.8
全職員数の推移	平成22年4月1日	平成23年4月1日	平成24年4月1日	
	565	558	533	

※ 参考値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値

④機構図(平成26年4月1日現在)

<市長>-<副市長>-
 市長 公室-秘書課, 人事課, 企画政策課
 総務部-総務課, 財政課, 税務課, 収納課
 市民福祉部-市民課, 保険年金課, まちづくり協働課, 健康づくり支援課

福祉事務所-高齢福祉課, 社会福祉課
 環境産業部-農林水産課, 商工観光課, 生活環境課
 都市建設部-建設課, 都市計画課, 地籍調査課, 下水道課
 <会計管理者>-会計課

<消防>
 <消防本部(消防長)>-総務課, 予防課, 指令室, 消防署
 <消防団>

<水道>-
 水道部-業務課, 施設課

<教育委員会>
 <教育長>-教育総務課, 学校教育課, 生涯学習課,
 小学校, 中学校, 学校給食センター, 海洋センター,
 図書館

<市立総合病院>-<病院長>-<経営企画室>
 <副院長>-事務部-総務課, 医事課, 新病院建設課
 -看護部, 医療技術部, 診療部
 -地域医療連携室, 医療安全監理室, 情報処理室

<議会>
 議会事務局

<行政委員会>
 選挙管理委員会事務局, 監査委員事務局, 農業委員会事務局,
 公平委員会事務局, 固定資産評価審査委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 磯原町 華川村 昭和31年3月31日 市制施行 南中郷村 磯原町 関南村 大津町 平潟町 関本村 昭和31年3月31日 名称変更 北茨城市

②地勢・風土等

茨城県の北東端にあり、首都東京まで約180kmの距離に位置する。茨城県天心記念五浦美術館や、漁業歴史資料館「よう・そろー」、中郷温泉「通りゃんせ」など、自然と文化に触れ合える観光地として発展しつつある。 活力ある地方都市を目指し、「市民が安心して住めるまち、夢と希望のもてるまち」の実現に向け、広域的・合理的な土地利用を進めながら、安全な市民生活、快適な生活環境の保持を図るとともに、充実した市民福祉や優れた教育と豊かな文化を享受できるように、調和のとれた開発を促進している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成26年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	25,534	24,508	23,168	21,942
	女	26,059	25,137	23,858	
	合計	51,593	49,645	47,026	
世帯数	16,672	17,090	16,966	16,909	

④有権者数(平成26年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 27.5%
	19,081	19,595	38,676	

<産業・経済>

①生産・所得(平成23年度)

市町村内総生産	1,647 億円	就業者1人当り	8,627 千円
住民所得	1,195 億円	人口1人当り	2,586 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成23年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	4,304	2.6%	1,028	4.8%
第2次	81,575	49.5%	9,110	42.6%
第3次	77,751	47.2%	10,800	50.5%
総額・総数	164,723	-	21,379	-

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	1,547	267	1,350
製造業 (平成24年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H24.1.1~12.31)
	146	6,468	225,588
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	437	2,834	44,329

④特産物

あんこう鍋, 天心焼, 自然薯, 花園牛, 雨情の里牛, どぶろく, 鮮魚, 干物, さつま揚げ, ひたち舞(コシヒカリ)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成23年度決算	平成24年度決算	増減率
歳入	21,019,785	23,292,077	10.8
歳出	19,984,233	22,509,008	12.6
形式収支	1,035,552	783,069	-
実質収支	798,988	700,440	-
単年度収支	118,309	△ 98,548	-
実質単年度収支	549,242	219,016	-

②主な歳入・歳出(平成24年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	23,292	-	2,272	10.8
地方税	5,882	25.2	△ 15	△ 0.3
地方交付税	3,816	16.4	△ 1,212	△ 24.1
国庫支出金	6,921	29.7	3,240	88.0
地方債	1,372	5.9	174	14.5
うち臨財債費	837	3.6	-	-
その他	5,301	22.8	-	-
うち繰入金	479	2.1	-	-
歳出	22,509	-	2,525	12.6
義務的経費	7,826	34.8	△ 425	△ 5.2
人件費	3,137	13.9	△ 122	△ 3.7
扶助費	2,851	12.7	△ 103	△ 3.5
公債費	1,838	8.2	△ 200	△ 9.8
投資的経費	1,855	8.2	-	-
普通建設事業費	1,372	6.1	126	10.1
うち補助	546	2.4	362	196.7
うち単独	773	3.4	△ 238	△ 23.5
その他の経費	12,828	57.0	-	-
うち繰出金	1,911	8.5	-	-

③主要指標(平成24年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	-	% (13.34)
連結実質赤字比率	-	% (18.34)
実質公債費比率	12.8	% (25.0) [9.8]
将来負担比率	79.5	% (350.0) [55.0]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成23年度～平成25年度)	0.654	[0.693]
経常収支比率	92.9	% [88.7]
標準財政規模(平成25年度)	10,009	百万円 [15,113]
地方債現在高(A)	14,579	百万円 [22,770]
債務負担行為支出予定額(B)	856	百万円 [2,718]
積立金現在高(C)	8,039	百万円 [6,994]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	7,396	百万円 [18,495]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成24年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,054,457 (31.6)	1,841,768 (31.3)	89.6 [90.5]
市町村民税・法人 (構成比)	611,880 (9.4)	604,587 (10.3)	98.8 [98.0]
固定資産税 (構成比)	3,172,265 (48.7)	2,800,077 (47.6)	88.3 [89.8]
市町村税合計 (国保除く)	6,509,957	5,882,211	90.4 [91.3]

<公共施設整備状況>(平成24年度) ※1は平成25年度 ※2は平成23年度

小学校 ※1	12 校	プール	2 か所
中学校 ※1	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設 ※2	13 か所
保育所 ※1	6 か所	病院・一般診療所	22 か所
図書館	1 か所	道路改良率	43.4 %
公営住宅	739 戸	道路舗装率	54.9 %
公民館等	8 か所	上水道等普及率	95.9 %
体育館	3 か所	汚水処理普及率	53.8 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
新病院建設事業	H22 ～ H26	医療の安全性の充実、建物の耐震性を強化するため、老朽化が目立つ現在の市立総合病院を立て直すための事業。	6,730
新図書館建設	H24 ～ H28	平成24年度に策定された「図書館建設基本構想」をもとに、平成28年度開館を目指し、新図書館建設を進める。	1,311
新消防本部庁舎建設事業	H25 ～ H28	施設の老朽化や津波による被害が及ぶ可能性がある庁舎を更新し、市民の安全・安心を確保する。	1,600
関本中学校区小中一貫校建設事業	H26 ～ H28	関本地区の小中学校3校を統合し、小中一貫校を整備する。	1,870
防災集団移転促進事業	H26	津波により大きな被害を受けた地域の方々を対象に実施。移転後の跡地の買取りも行う。	831

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

平成26年を未来への「飛躍の年」と位置付け、震災復興計画に基づき、水産業の再建や原発事故の風評被害の払拭、社会インフラなどの本格的な復興を図り、さらなる市勢の発展に取り組む。

<特色ある行政>

豊かな自然資源や歴史・文化などの観光資源を生かしたグリーン・ツーリズムとブルー・ツーリズムを展開。都市と農山漁村との交流拡大を図り、新たな産業の創造に努力。消防規制を緩和し、農家の民宿経営を推し進める。08年から、中心市街地の活性化と市民協働の推進を目的に、市民手作りの夏祭りを開催している。